



令和元年7月23日
中部地方整備局 清水港湾事務所
第三管区海上保安本部 清水海上保安部

しゅんせつけんあぶらかいしゅうせん せいりゅうまる じゅんしせん
浚渫兼油回収船「清龍丸」と巡視船「いず」

7月27日(土)～28日(日)一般公開

浚渫兼油回収船「清龍丸」(国土交通省中部地方整備局 名古屋港湾事務所所属)と巡視船「いず」(海上保安庁第三管区海上保安本部 横浜海上保安部所属)は、静岡県清水港日の出埠頭にて船内一般公開を行います。

1. 概要

「清龍丸」と「いず」は、「海フェスタしずおか」の船舶寄港イベントに参加し、2船同時の船内一般公開を行います。(※巡視船「いず」は体験航海イベントも行います。)

2. 公開日時・場所

公開日時

<清龍丸>

令和元年7月27日(土)と28日(日):10:00～15:00(受付終了)

※事前申し込み不要、入場料無料

<いず>

令和元年27日(土):一般公開 午前の部 10:00～12:00(11:30 受付終了)

午後の部 13:00～15:00(14:30 受付終了)

※事前申し込み不要、入場料無料

令和元年28日(日):体験航海 10:00～12:00

※乗船できるのは「海フェスタしずおか」実行委員会による公募の結果、当選された方に限られます。なお、公募については、既に終了しています。

場 所 : 清水港日の出埠頭4・5号岸壁(住所:静岡市清水区日の出町10)

【浚渫兼油回収船「清龍丸」】

国土交通省では、全国に3隻の浚渫兼油回収船を保有しており、その1隻である「清龍丸」は、大規模油流出事故に備えるとともに、平時は名古屋港において航路や泊地の浚渫作業を行っています。

また、大規模な災害では、緊急支援物資の運搬や給水・入浴等の支援が可能な船であり、東日本大震災や熊本地震、西日本を中心とした平成30年7月豪雨でも活躍しました。

【巡視船「いず」】

巡視船「いず」は、海上保安庁 第三管区海上保安本部 横浜海上保安部所属の3,500トン型巡視船で、「阪神・淡路大震災(平成7年)」の教訓をもとに、指揮・通信・情報処理機能を向上させ、医療・宿泊設備の充実と拡大、支援・防災機材の搭載能力の向上と

提供手段の装備、ヘリコプターと潜水士への支援機能を付加した「災害対応型」として建造された巡視船です。

また、「救難強化巡視船」として潜水士（海猿）も乗船しており、行方不明者等の海中捜索や、衝突事案では海中の実況見分等捜査にも大活躍しているほか、海上警備、密漁取締り等の海上保安業務に従事しています。

3. 配布先

静岡県政記者クラブ、静岡市政記者室、港湾空港タイムス、港湾新聞、
日本海事新聞、海事プレス、マリタイムデーリーニュース

4. 取材

事前の取材申し込みは下記問い合わせ先にご連絡下さい。また、一般公開当日に会場で取材、撮影をしていただくことは自由です。

(※巡視船「いず」体験航海にかかる取材については、7月26日(金)までに、清水海上保安部管理課へお問い合わせ願います。)

5. 問合せ先

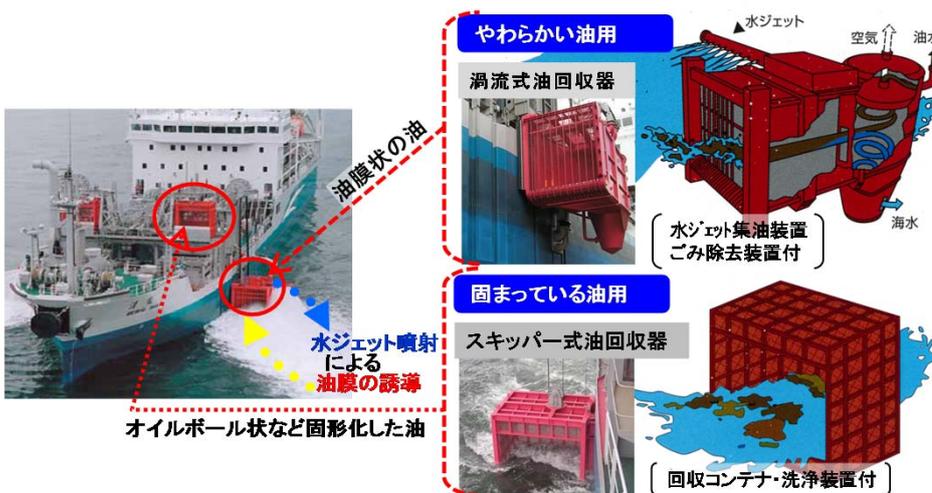
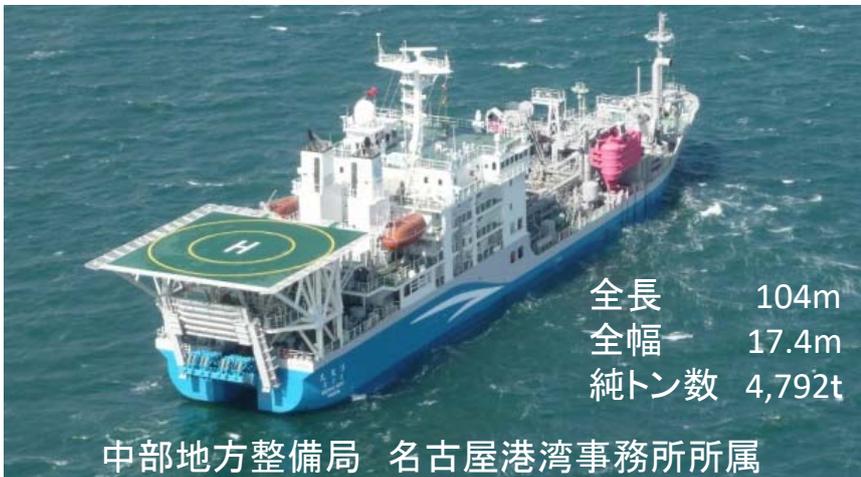
国土交通省 中部地方整備局 清水港湾事務所 総務課 神原(かんばら)
Tel 054-352-4146 Fax 054-353-3072

海上保安庁 第三管区海上保安本部 清水海上保安部 管理課 田嶋(たじま)
Tel 054-353-1118 Fax 054-353-7118

浚渫兼油回収船「清龍丸」の概要

「清龍丸」の行う業務

- 通常は、航路、泊地等の浚渫作業。
 - ・高精度で平坦浚渫を可能とする幅広い新型ドラグヘッドを装備。
- 大量油流出時には、速やかに流出現場に向かい、油回収作業。
 - ・油の状況に応じた2種類の回収器を装備。
- 災害時には、災害支援作業(災害情報収集、救援物資輸送、給水、電力供給等)。
 - ・情報収集・発信のための通信システムや防災要員・物資運搬等のためのヘリデッキを装備。



油回収タンクに約1時間で1,000kl(ドラム缶約5千本分)の油水を回収可能。

巡視船「いず」

全長110m 3,500トン型の災害対応型巡視船



医務室



医療用ベッド



ヘリコプター甲板



救援物資揚陸用クレーン

